

2022年3月14日

報道関係各位

ビーワイディージャパン株式会社

BYD、小型電気バス「J6」を美濃加茂市に納入 ～コミュニティバス「あい愛バス」として運行開始～

電気自動車大手 BYD の日本法人 ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉 学亮、以下 BYD ジャパン）はこの度、岐阜県美濃加茂市（市長：藤井 浩人）に、量産型小型電気バス「J6」1台を納入しました。この電気バスは、美濃加茂市内全域や周辺地域を巡るコミュニティバス「あい愛バス」（URL：<http://ai-ai-bus.com/>）として、2022年3月7日（月）より運行が始まっています。

今後も BYD ジャパンは、環境に優しく、安全性の高い電気バスを提供することで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。



<美濃加茂市に導入された「J6」>

■小型電気バス「J6」について（URL：<https://bydjapan.co.jp/products/j6/>）

車両名称	J6（読み：ジェイシックス）
車長×車幅×車高	6,990mm×2,080mm×3,060mm
充電方式	CHAdeMO 対応
バッテリー容量	105.6kWh
乗車定員	都市型Ⅰ : 31人
	都市型Ⅱ : 29人
	郊外型 : 25人

BYD が日本市場向けの小型電気バスとして開発した「J6」は、2020 年 7 月より販売を開始して以降、地域のコミュニティバスや、テーマパーク内を走行するパークバスとして日本各地で導入されています。「J6」は、走行中の CO2 排出がゼロなのはもちろん、約 200km の航続距離^(※1) や、すべての人が乗り降りしやすいノンステップ仕様で、環境にも人にもやさしい電気バスです。また、災害時には非常用電源としても活用することができるほか、被災地に移動して冷暖房完備の避難所としても活用できるため、事業者や自治体における BCP 対策としても検討・導入が進められています。

(※1) 乗車率 65%、エアコン不使用

【BYD ジャパンについて】(URL : <https://bydjapan.co.jp/>)

BYD は、1995 年にバッテリーメーカーとして中国・深圳で創業し、電気自動車事業、環境エネルギー事業、モノレール事業、IT デバイス事業をグローバルに展開しています。2005 年に BYD の日本人として設立した BYD ジャパンは、電気バスをはじめとする電気自動車事業のほか、ソーラーパネルや産業用の蓄電システムなどの環境エネルギー事業を国内で展開しています。特に電気バスは、これまで日本国内に累計 64 台を納入しており、国内の電気バスシェアは約 7 割を占めています。^(※2)

BYD ジャパンは今後も、ブランドミッションである『Technological Innovation for a better life』のもと、革新的な技術によって地球環境に配慮した製品・サービスを開発し、社会と人々の生活に寄り添った事業を展開してまいります。

(※2) 2022 年 3 月 14 日時点、自社調べ。

以上

製品に関するお問い合わせ

■ ビーワイディージャパン株式会社

お問い合わせフォーム

<https://bydjapan.co.jp/contact/>

報道関係お問い合わせ

■ ビーワイディージャパン株式会社

広報担当 長井

E-mail : japanpr@byd.com

記載されている会社名・製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C)2022 BYD Company Ltd. All rights reserved.